

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 札幌証券取引所
公告方法	電子公告により行う (https://hokkanholdings.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

贈呈基準

所有株式数	ご優待内容
100株以上1,000株未満	3,000円相当の缶詰詰合せ
1,000株以上2,000株未満	6,000円相当の缶詰詰合せ
2,000株以上	8,000円相当の缶詰詰合せ



ホッカンホールディングス株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL 03-3213-5111 (代表)
URL: <https://hokkanholdings.co.jp/>

各種お手続きについて

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

【未払配当金の支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙とベジタブルオイルインキを使用しています。



株主の皆様へ

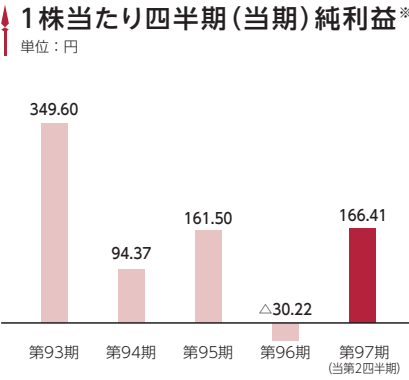
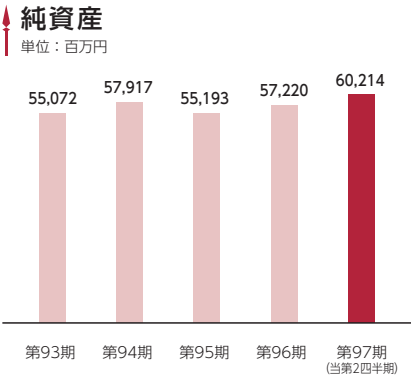
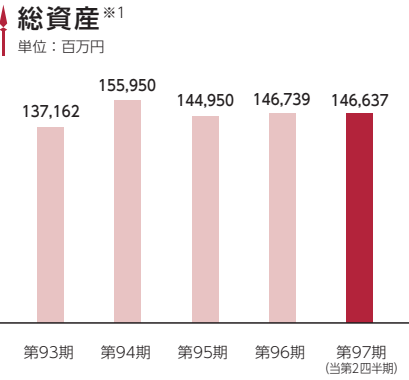
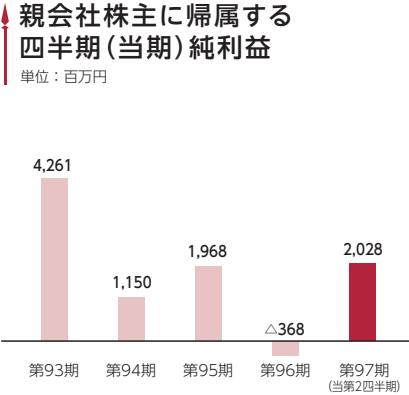
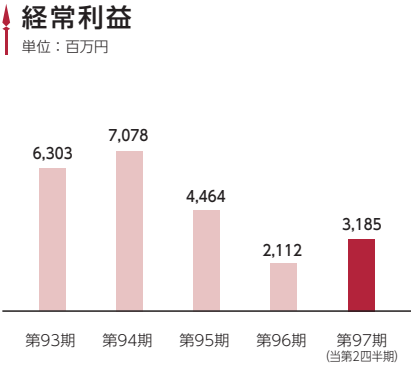
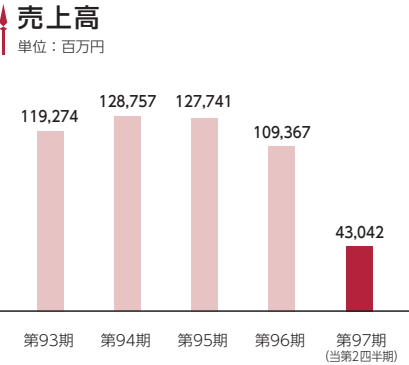
HOKKAN REPORT Vol.32

第97期上半期 株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日

(証券コード:5902)

ホッカンホールディングス株式会社



項目		第93期	第94期	第95期	第96期	第97期(当第2四半期)
売上高	(単位:百万円)	119,274	128,757	127,741	109,367	43,042
経常利益	(単位:百万円)	6,303	7,078	4,464	2,112	3,185
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(単位:百万円)	4,261	1,150	1,968	△368	2,028
総資産※1	(単位:百万円)	137,162	155,950	144,950	146,739	146,637
純資産	(単位:百万円)	55,072	57,917	55,193	57,220	60,214
1株当たり四半期(当期)純利益※2	(単位:円)	349.60	94.37	161.50	△30.22	166.41

※ 1 第94期より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用したため、第93期については、遡及適用後の数値を記載しております。

※ 2 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第93期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

※ 3 第97期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、売上高は17,119百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ31百万円減少しております。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第97期上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の営業の概況ならびに計算書類について、ご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により個人消費が大きく落ち込みました。9月末をもって緊急事態宣言が解除されましたが再度の感染拡大の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当上半期の清涼飲料業界の状況につきましては、前年大幅に販売が減少したことの反動により全カテゴリーにおいて堅調に推移しましたものの、緊急事態宣言の長期化や夏場の全国的な長雨の影響等もあり、前年を僅かに上回るに留まりました。

食品缶詰業界につきましては、水産缶詰では一部の水産原料不足やギフト需要の低迷が続き、農産缶詰では巣ごもり需要の反動により販売が減少しましたため、業界全体として前年を下回る結果となりました。

このような状況におきまして、当上半期における当社グ



代表取締役社長

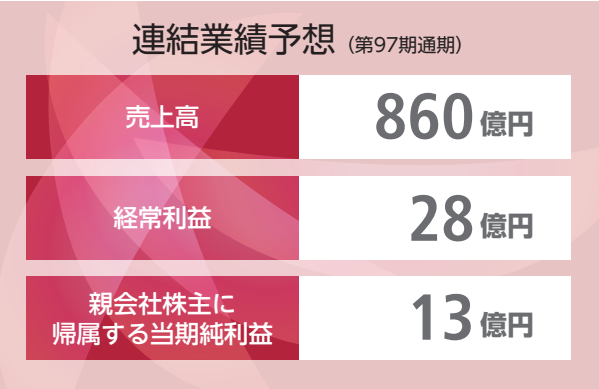
池田 孝資

ループの経営成績は、連結総売上高は430億42百万円(前年同期比552億56百万円)、営業利益は28億31百万円(前年同期比203.9%増)、経常利益は31億85百万円(前年同期比106.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億28百万円(前年同期比120.1%増)となりました。

なお、第97期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は171億19百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ31百万円減少しております。

下半期は、再度の感染拡大への懸念や原材料価格・エネルギーコストの上昇、円安の進行等により厳しい経営環境が見込まれる中、当社グループは、需要の回復に速やかに対応できるよう備えるとともに、収益の確保に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第97期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっています。

事業別の概況

メタル缶

飲料用スチール空缶につきましては、前年の自動販売機やコンビニエンスストアでの大幅な販売の落ち込みの反動等により、前年を若干上回る結果となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、農産缶詰では、主力のスイートコーンが前年を上回りましたものの、水産缶詰につきましては、サバやイワシ等の缶詰の販売が減少したことにより、食品缶詰用空缶全体では前年を下回る結果となりました。

エアゾール用空缶につきましては、ホビー需要等の増加により塗料製品の販売が好調に推移したほか、工業用品、虫よけ等の人体用品が堅調でありましたものの、お客様による内製化の影響により燃料ボンベ缶の販売が落ち込みましたため、エアゾール用空缶全体では前年を下回る結果となりました。

美術缶につきましては、外出自粛等による大幅な販売減の反動により、前年を上回る結果となりました。

プラスチック容器

飲料用ペットボトルにつきましては、新規取引を開始したことなどにより販売が増加したため、前年を上回る結果となりました。プリフォーム(ボトル成型前の中間製品)につきましては、前年を下回りましたため、プリフォームを含む飲料用ペットボトル全体としては、前年並みに推移する結果となりました。

容器事業



主要な事業内容

メタル缶製造

飲料・食品缶詰・エアゾール製品等に用いる空缶や美しい意匠を施した美術缶等、スチール製容器包装を製造販売しています。

プラスチック容器製造

飲料用・食品用のペットボトルや化粧品・ヘルスケア・トイレタリー等のプラスチック製容器包装を製造販売しています。また、プリフォーム(ペットボトル成型前の中間製品)の販売を行っています。

事業会社(連結子会社)

北海製罐(株)

メタル缶製造、プラスチック容器製造

東都成型(株)

プラスチック容器製造

昭和製器(株)

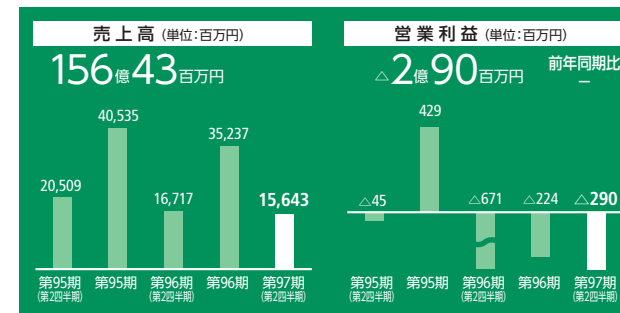
メタル缶製造

食品用ペットボトルにつきましては、新たなお客様との取引開始はありましたものの、醤油用ボトル・食用油用ボトルの販売が落ち込んだため、前年を下回る結果となりました。

その他のプラスチック製容器包装につきましては、外出自粛等の販売減の反動により、前年を上回る結果となりました。バッグインボックスにつきましては、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は156億43百万円(前年同期は167億17百万円)となり、営業損失は2億90

百万円(前年同期は営業損失6億71百万円)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は13億63百万円減少し、営業損失に与える影響は軽微であります。



缶製品

缶製品につきましては、通常缶では、前年からは受注が一定程度回復したものの、販売は低調に推移したため前年を下回る結果となりました。また、リシール缶(ボトル缶)につきましても、販売が低調に推移しましたため、前年を下回る結果となりました。

ペットボトル製品

ペットボトル製品につきましては、大型ペットボトルは家庭内消費が増加したため、また小型ペットボトルは、新ラインの稼働等により前年を上回りましたため、ペットボトル製品全体では前年を上回る結果となりました。

以上の結果、乳製品受託製造販売および食品の受託製

充填事業



主要な事業内容

飲料受託充填

各種缶飲料・ペットボトル飲料の受託充填を行っています。原材料の調合から充填、包装、物流までを一貫して行っています。

事業会社(連結子会社)

(株)日本キャンパック

飲料受託充填

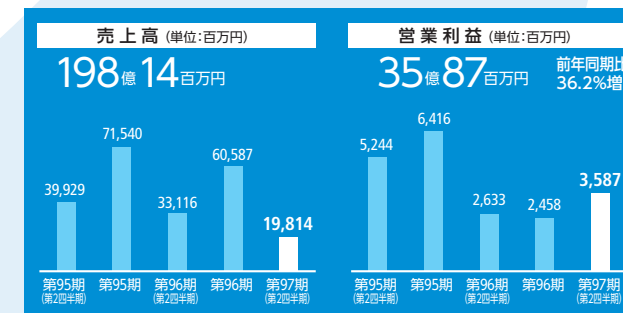
くじらい乳業(株)

乳製品受託製造

(株)真喜食品

食品受託製造

造を含めた充填事業全体の売上高は198億14百万円(前年同期は331億16百万円)となり、営業利益は35億87百万円(前年同期36.2%増)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は157億83百万円減少し、営業利益は36百万円減少しております。



機械製作事業

主要な事業内容

産業機械・金型製作

各種生産設備や機械装置、金型等を製作しています。生産設備から金型に至るまでを一貫して受託することができます。

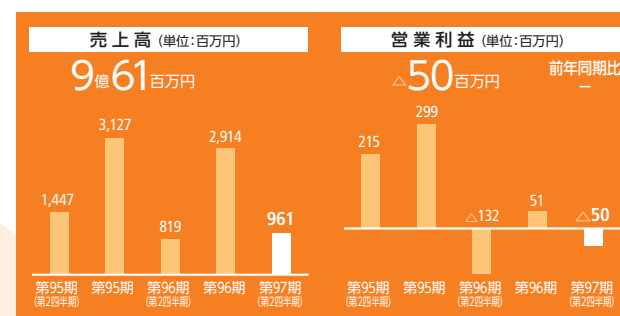


事業会社(連結子会社)

オーエスマシナリー(株)

産業機械・金型製作

機械製作事業につきましては、自動車部品生産設備、金型などの受注が増加しましたことにより、機械製作事業全体の売上高は9億61百万円(前年同期は8億19百万円)となりましたものの、営業損失は50百万円(前年同期は営業損失1億32百万円)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は27百万円増加し、営業利益は4百万円増加しております。



海外事業



事業会社(連結子会社)

PT.ホッカン・デルタパック・インダストリ

飲料容器(カップ)の製造

PT.ホッカン・インドネシア

飲料容器の製造・受託充填

日本キャンパック・ベトナム

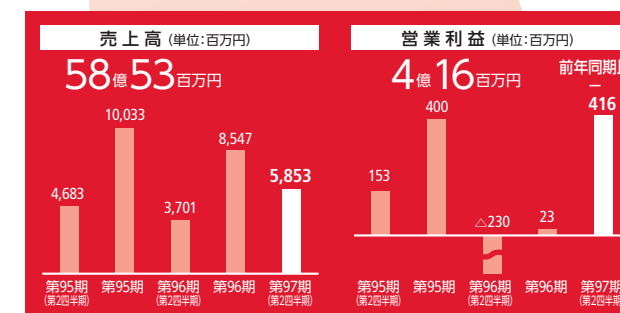
飲料の受託充填



インドネシアにつきましては、PT.HOKKAN DELTAPACK INDUSTRI(ホッカン・デルタパック・インダストリ社)では、大規模な社会活動制限の影響がありましたものの、前年の落ち込み需要が回復したため、前年を大きく上回る結果となりました。PT.HOKKAN INDONESIA(ホッカン・インドネシア社)では、主要なお客様からの受注が好調に推移しましたため、前年を上回る結果となりました。

ベトナムにつきましては、NIHON CANPACK (VIETNAM)CO.,LTD.(日本キャンパック・ベトナム社)では、同国の規制強化の影響を受けたことにより、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、海外事業全体の売上高は58億53百万円(前年同期は37億1百万円)となり、営業利益は4億16百万円(前年同期は営業損失2億30百万円)となりました。



その他



事業会社(連結子会社)

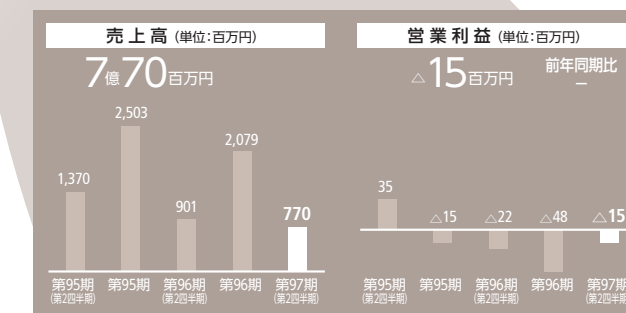
(株)コスメサイエンス
化粧品等の製造

(株)ワーク・サービス
工場内運搬作業等受託



株式会社コスメサイエンスでは、前年の需要減から回復基調にあることなどにより、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、工場内運搬作業等受託を含めたその他の全体の売上高は7億70百万円(前年同期は9億1百万円)となりましたものの、営業損失は15百万円(前年同期は営業損失22百万円)となりました。



100周年の節目にコーポレートマークの刷新および各種方針を策定

1921年に北海道小樽にて創業して以来100年、当社は事業の発展とともに関連会社も増え、今日のホッカンホールディングスグループに育ちました。そして次の100年を見据え、より一層の事業の発展とグループの団結を目指し、コーポレートマークを新しいグループマークに統一することといたしました。

また、2021年5月に我々自身の使命を明確に表した「経営理念」、2030年を目途に当社グループはどのような存在になっているべきかを表した「ビジョン」等を公表しました。併せて公表した「サステナビリティ基本方針」は、経営理念およびビジョンの実現を目指すにあたり当社グループが守るべき企業としての基本姿勢、行動原則を表したものです。同時に、サステナビリティ基本方針の下位規程として新たな環境方針、製品安全方針、労働安全衛生・健康方針およびサステナビリティ調達方針を策定し、2021年6月には人権方針を策定いたしました。

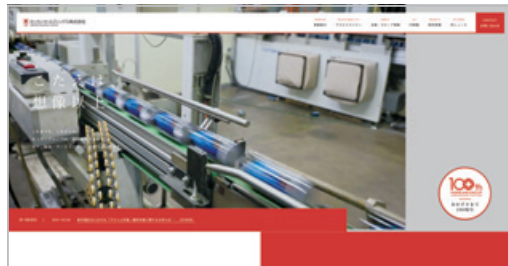
詳細につきましては、下記にございますURLまたはQRコードから当社のリニューアルいたしましたホームページをご覧ください。

新コーポレートマーク



新コーポレートマークは、創業以来の変わらぬ開拓者精神を受け継ぐ形で従来のクローバマークを踏襲し、その右にHOKKAN GROUPと表記して、グループの一員であることを明確に示しております。色は創業時の赤を基調に原点を見つめ直し、明るい未来を目指す情熱の色として、新しくホッカンミネルヴァレッドを設定しました。ミネルヴァとは、知恵と技術と商いを司る女神の名前です。

ホームページ(リニューアル)



QRコード

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

URL <https://hokkanholdings.co.jp>

新経営理念

開拓者精神をもって、
成長のために飽くなき挑戦をし続け、
お客様とともに、
社会から必要とされる製品を
提供していく。

100周年特設ページ



URL <https://hokkanholdings.co.jp/100year/>

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年 9月30日現在	前期 2021年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	46,371	49,477
固定資産	100,266	97,261
資産合計	146,637	146,739
負債の部		
流動負債	36,036	37,071
固定負債	50,386	52,447
負債合計	86,422	89,519
純資産の部		
株主資本	51,424	49,639
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	11,107	11,107
利益剰余金	31,180	29,417
自己株式	△1,950	△1,972
その他の包括利益累計額	5,231	4,143
非支配株主持分	3,558	3,437
純資産合計	60,214	57,220
負債純資産合計	146,637	146,739

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年4月 1 日から 2021年9月30日まで	前第2四半期 2020年4月 1 日から 2020年9月30日まで
売上高	43,042	55,256
売上原価	32,317	46,634
売上総利益	10,725	8,621
販売費及び一般管理費	7,894	7,689
営業利益	2,831	931
営業外収益	559	854
営業外費用	204	242
経常利益	3,185	1,543
特別利益	—	7
特別損失	36	303
税金等調整前四半期純利益	3,148	1,247
法人税、住民税及び事業税	944	287
法人税等調整額	84	67
四半期純利益	2,120	892
非支配株主に帰属する 四半期純利益(△は損失)	91	△29
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,028	921

第97期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、売上高は171億19百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ31百万円減少しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2021年4月 1 日から 2021年9月30日まで	前第2四半期 2020年4月 1 日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,812	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,953	△1,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,030	△222
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,110	△1,823
現金及び現金同等物の期首残高	8,433	6,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,323	4,665

株式の状況 (2021年9月30日現在)

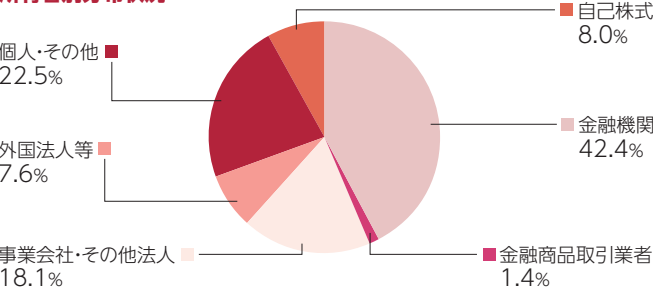
発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	13,469,387株
株主数	10,485名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,189	9.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	729	5.88
日本生命保険相互会社	654	5.28
株式会社みずほ銀行	594	4.80
農林中央金庫	400	3.23
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	380	3.07
東京海上日動火災保険株式会社	361	2.91
株式会社北海道銀行	265	2.14
株式会社メタルワン	260	2.10
三菱UFJ信託銀行株式会社	247	2.00

(注1)持株数は千株未満を切捨てて表示しております。
(注2)当社は自己株式1,074,041株を所有していますが、上記大株主からは除いております。
(注3)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



会社概要 (2021年9月30日現在)



商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
本社	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル TEL03-3213-5111
設立	1950(昭和25)年2月1日 (創立 1921(大正10)年10月23日)
資本金	110億8,652万4,995円
従業員数	60名(連結 2,498名)
事業内容	・各種空罐・容器の製造 ・飲料受託充填 ・産業機械・金型製作 他

役員体制 (2021年9月30日現在)

取締役

 工藤 常史 取締役会長(代表取締役)	 池田 孝資 取締役社長(代表取締役)	 佐藤 泰祐 取締役常務執行役員	 多田 秀明 取締役常務執行役員	 武田 卓也 取締役執行役員
 砂 廣俊明 取締役執行役員	 藤田 晶子 取締役(社外)	 耕田 一英 取締役(社外)	 渡邊 敦子 取締役(社外)	

監査役

 竹田 由里 常勤監査役	 渡辺 基樹 監査役	 田代 宏樹 監査役(社外)	 鈴木 徹也 監査役(社外)
--	--	--	--